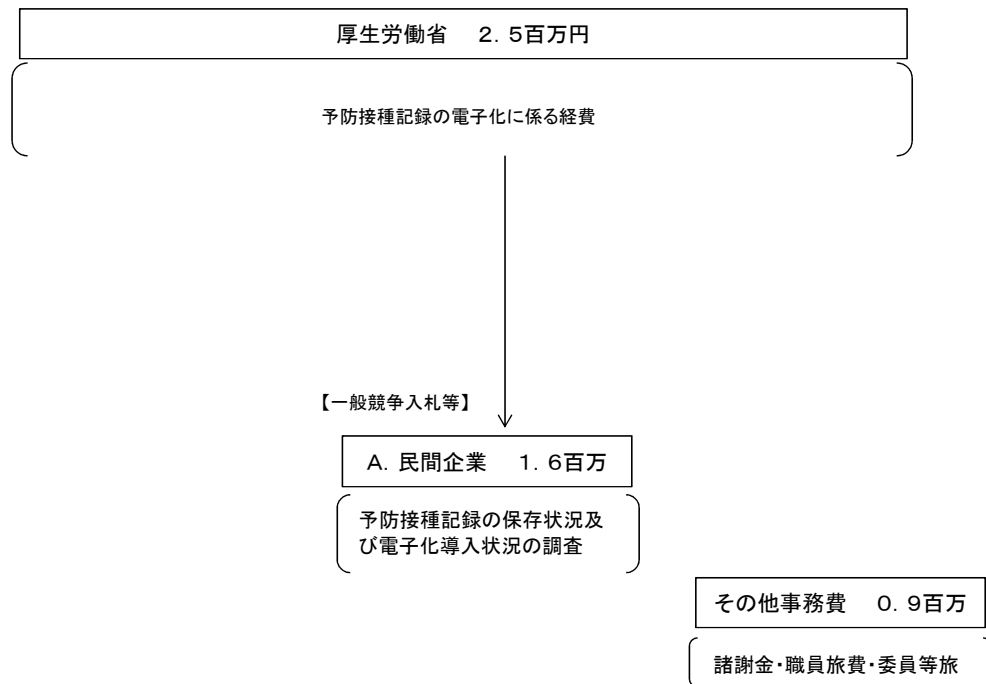


平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	予防接種記録の電子化に係る経費			担当部局庁	健康局	作成責任者		
事業開始年度	平成27年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	結核感染症課	結核感染症課長 井上 肇		
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-5-1 感染症の発生・まん延の防止を図ること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」(平成25年法律第27号)第9条第1項			関係する計画、通知等	予防接種に関する基本的な計画			
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	近年、定期接種化されるワクチンが増加し、接種回数やスケジュールが複雑化している。しかし、予防接種記録について、市町村長等が保存する手法にはバラツキがあり、国民一人一人が生涯保有できる仕組みとなっていない。また、「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」(平成25年法律第27号)第9条第1項により、予防接種法に基づく予防接種の実施等の事務処理に関して保有する特定個人情報ファイルにおいて個人情報等を効率的に検索し、及び管理するために必要な限度で個人番号を利用することができることとされている。このため、地方自治体において、国民が予防接種歴について長期間保有し、確認できるシステムを構築することを目的として、より良い予防接種記録の電子化に向けた調査・検討を行う。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	(1)予防接種記録電子化検討会議(仮称)の開催 (2)予防接種記録の保存状況及び電子化導入状況の調査							
実施方法	直接実施							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	-	-	3	3	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	0	0	0	3	3	
	執行額	-	-	-	-	-		
	執行率(%)	-	-	-	-	-		
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 31年度	
	予防接種記録の電子化導入率の把握	予防接種記録の電子化導入率の把握	成果実績	%	-	-	-	
			目標値	%	-	-	-	100
			達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	予防接種記録電子化検討会議(仮称)の開催回数	活動実績	回	-	-	-		
		当初見込み	回	-	-	-	-	
単位当たりコスト	算出根拠	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	単位当たりコスト = X / Y	単位当たりコスト	円/回	-	-	-	-	
	X:「予防接種記録の電子化の推進に係る執行額」 Y:「予防接種記録電子化検討会議(仮称)の開催回数」	計算式	円/回	-	-	-	-	
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0	0					
	職員旅費	1	1					
	委員等旅費	0	0					
	庁費	2	2					
	計	3	3					

事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	予防接種記録については、現在地方自治体によって、管理体制がバラバラなため、国民一人一人が長期間保有できる仕組みの構築に向けた事業であり、国民のニーズ、優先度ともに高いものとなっている。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	予防接種記録については、現在地方自治体によって、管理体制がバラバラなため、国民一人一人が長期間保有できる仕組みの構築を目指すにあたり、電子化の達成状況の低い自治体に対して推奨を行うにあたり、国費を投入しなければ事業目的を達成できない。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	当該事業は、世界最先端IT国家創造宣言に位置付けられた事業であり、優先度の高い事業となっている。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-		
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-		
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	-			
	改善の方向性	-			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	-				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	-		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.			E.			
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
	計			0	計		0

支出先上位10者リスト

A.	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					